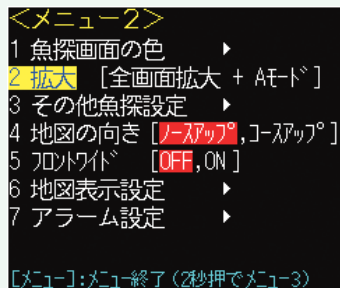


全画面拡大+Aモード表示

【全画面拡大+Aモード】表示は、ワカサギ釣りで拡大画面をより大きく見たい方におすすめの設定です。(通常の魚探画面は表示されません)

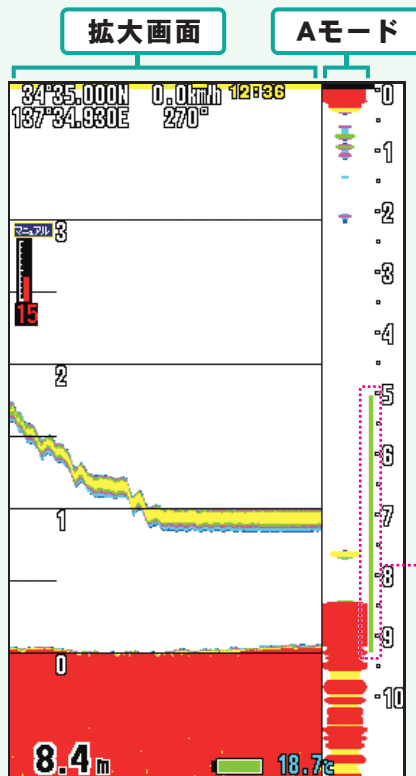
◎全画面拡大+Aモードの設定方法

☰を2回押すと、〈メニュー2〉が表示されます。



[2.拡大]で【全画面拡大+Aモード】を選択し、
 ☰を押すと設定完了です。(メニュー画面が閉じます)

*全画面拡大+Aモードはワカサギモードが“ON”時に設定できます。
 ワカサギモードの設定方法は表面をご覧ください。



▲▼ キーを押して拡大範囲を設定します。

高低 キーを押して感度を設定します。

*拡大範囲と感度の設定手順は、
 中面【2.セッティング編】の
ステップ2・ステップ3をご覧ください。

ポイント

拡大範囲以外の反応は画面右端のAモードを見ます。
 Aモードは過去の反応を残すことはできませんが、
 常に真下の反応を表示しており、おもりが落ちていく様子もリアルタイムで動いて映るため便利です。

拡大範囲

*拡大画面(画面⑤)に
 この緑のバーの範囲を拡大して表示します。

ワカサギ釣り おすすめセッティング

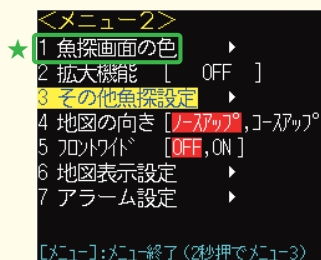
191003③

～『ワカサギモード』でかんたんに湖の底を探って釣果アップ!～

ワカサギモードを使えば、湖の底とワカサギの群れやおもりの反応との位置関係がより分かりやすくなります。
 ワカサギモードの設定方法とおすすめの使い方を紹介しますので、ぜひ使ってみましょう!

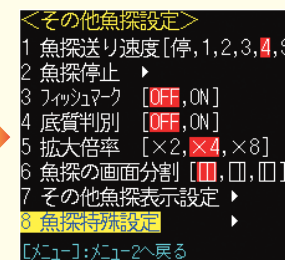
1.ワカサギモードの設定方法

はじめに ☰を2回押します。〈メニュー2〉が表示されるので、以下の手順で設定しましょう。

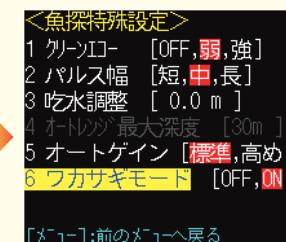


[3.その他魚探設定]で ▶ を
 押します。

★[1.魚探画面の色]内の“背景色”は、
 屋外では白、ドーム船等の屋内では黒がおすすめです



[8.魚探特殊設定]で ▶ を
 押します。



[6.ワカサギモード]で【ON】を選択し、
 ☰を3回押すと設定完了です。
 (メニュー画面が閉じます)

☞ワカサギモードを“ON”にすると、ワカサギ釣りに適した「拡大機能」「拡大幅」「逆スケール」が
 使用できるようになります。

また、「魚探の深度・感度機能」が“オート”の場合は“マニュアル”に切り替わります。

*ワカサギモードを“OFF”にすると、上記で設定したメニューが“ON”にする以前の設定を保持します。

◆以下の場合、ワカサギモードを“OFF”にしてお使いください。

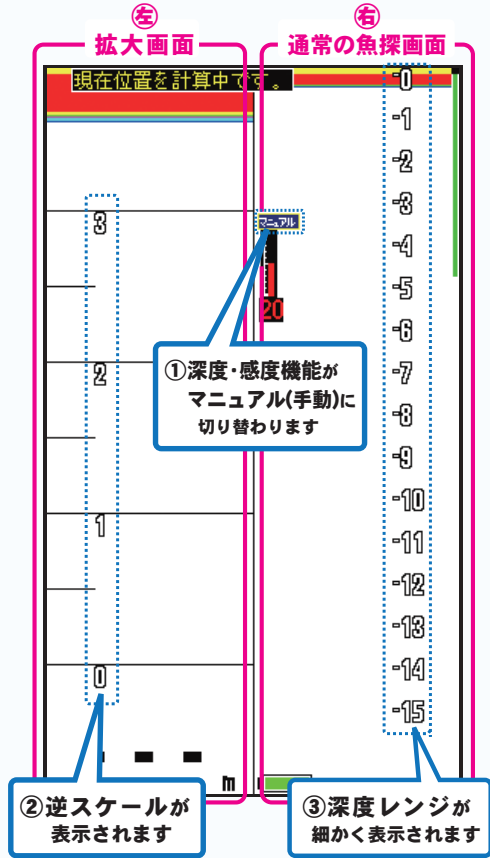
- ・湖の底の起伏が一定でない場合(ボートで移動中など)
- ・水深が40m以上の場合(深度レンジは0~40mです)
- ・拡大機能で「自動拡大」と「海底固定拡大」を使いたい場合

中面の【2.セッティング編】に続きます。

2. セッティング編

ワカサギモード“ON”時の画面構成

* 通常の魚探画面(画面⑥)の一部を拡大した映像が拡大画面(画面⑤)に表示されます。



① 魚探の深度・感度機能がマニュアル(手動)に切り替わります。マニュアル設定で使うことで、調整がより細かくできます。

詳細は [ステップ1](#)・[ステップ3](#) をご覧ください。

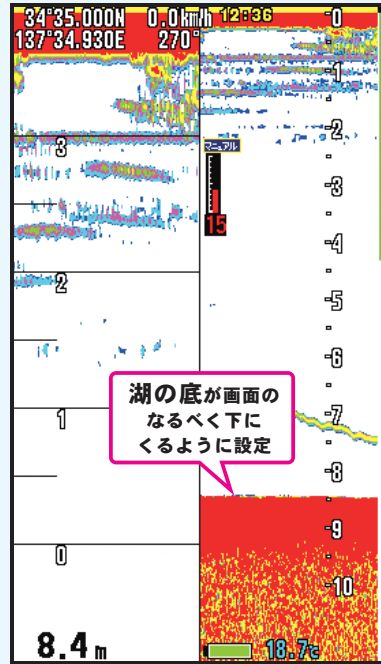
* オート(自動)で使いたい方は、**オート** キーで切り替えます。

② 拡大画面上に逆スケールが表示されます。湖の底を0mとしたスケールを表示します。詳細は [ステップ2](#) をご覧ください。

③ 通常の魚探画面上に深度レンジが細かいスケールで表示され、反応のあるタナを見分けやすくなります。

ステップ1

深さを設定する。



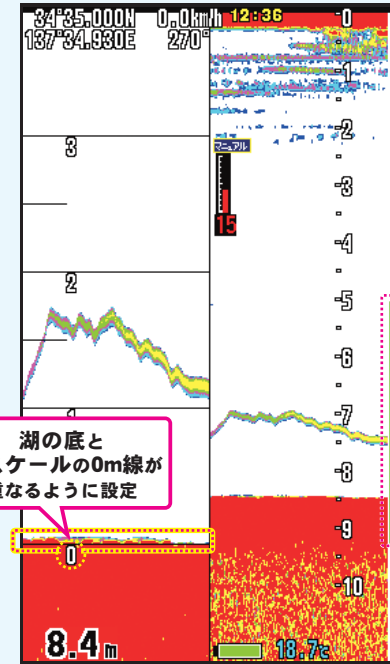
浅 深 キーを押して通常の魚探画面(画面⑥)で湖の底が画面のなるべく下にくるように設定しましょう。

ポイント

湖の底をなるべく下に設定することで、魚探画面を最大限に活用できます。釣る場所や水深が変わる場合は深度を調整し直しましょう。

ステップ2

拡大範囲を設定する。



▲ ▼ キーを押して拡大範囲を設定します。拡大画面(画面⑤)を見ながら拡大範囲を調整し、湖の底と逆スケールの0m線が重なるように設定しましょう。

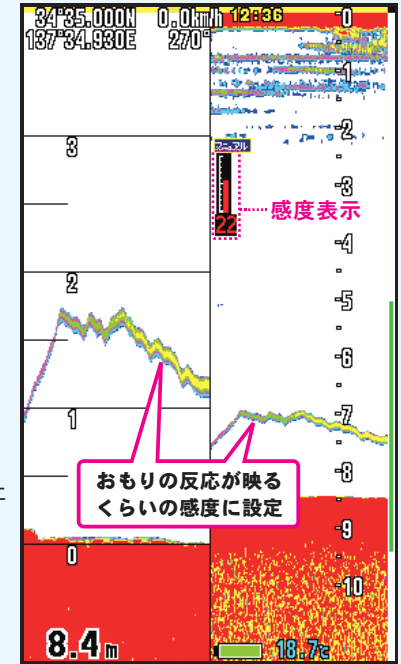
* 拡大範囲の設定は、魚探のみの画面でおこなってください。(画面⑤キーで切り替えます)

ポイント

拡大範囲が従来の拡大倍率[X2, X4, X8]から拡大幅[2m, 3m, 4m]での表示になり、湖の底から対象物の反応までの距離がより分かりやすくなりました。使用する仕掛けの長さや狙うタナに合わせて拡大幅を選びましょう。

ステップ3

感度を設定する。



高 低 キーを押して感度を設定します。感度が低すぎるとおもりや魚の反応をとらえにくくなり、逆に高すぎると不要な反応まで映って判別しづらくなります。

目的の深さ(ワカサギのタナ付近)でおもりの反応が映るくらいの感度に設定しましょう。

ポイント

水深や水のごりによっても最適な感度は変わるので、こまめに調整しましょう。

これでセッティング完了です。
釣果アップ目指してがんばりましょう!

拡大画面をより大きく見たい方は、裏面の【全画面拡大+Aモード表示】をご覧ください。